

てんのうへいかぎよせい

天皇陛下御製

ひかり へいせい

「光」(平成三十一年)

おく

贈られし ひまはりの種は 生え揃ひ

わ

たね

は

そろい

は ひろ

葉を広げゆく 初夏の光に

しよ

か

ひかり



この御製（天皇陛下が詠まれた和歌のこと）は、平成十七年、
阪神淡路大震災十周年追悼式で、遺族から贈られたヒマワリの種
が葉を広げ成長する様子を詠まれたものです。

このヒマワリの種は震災で亡くなった加藤はるかさん（当時十
一歳）の自宅跡で採集されたもので、「震災復興のシンボル」と
して、種まきを通じて命の大切さを語り継いでいます。

両陛下は毎年、この「はるかのひまわり」の種を御所の庭にま
いて大切に育ててこられました。平成最後の歌会始の御製の題材
として選ばれたのは、平成から新しい時代に移っても、被災地へ
ずっとお心を寄せ続けようとされる天皇陛下のお気持ちが入め
られていると感じます。